



洋画家：岡崎洋児氏〈珠州市狼煙町〉

こらむ

アイデンティティ 33

奥能登の自然は唱う

四季懐古―冬は冬帝

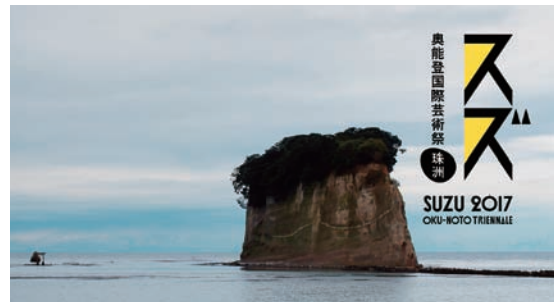
「冬は、つとめて」と清少納言は言う。まさしく奥能登は「北陸」と呼称される通り目敏い焦点の位置にある。冬はその名こそその季節であり、擬人化して呼ぶ冬帝あるいは冬將軍が我が季節とばかりに騒いで現れる。

曾々木海岸窓岩から古くは行者道をくぐり抜けると、断崖から滴り落ちる真浦海岸垂水の滝がある。ここで厳冬期冬帝は君臨して「波の花」を造形するのである。風速20メートルもの猛威の寒風が吹き付け海鳴りと共に荒波は砕けて花と化ける。このシベリアおろしの強烈な季節風が吹き荒れる外浦の海に沿って住む人々現在は大沢、上大沢、皆月などは「間垣」と呼ばれる高さ5メートルほどの苦竹を隙間なく家々に囲い張り巡らせて暮らしを紡いできた。例えば「間垣」は烈風除け、塩害防止、湿気軽減、海鳴り遮音などの冬場の機能だけでなく、夏の直射日光や西日を遮る効果もあるという。自然と折り合って生きるすべを引き継いできた人々の智慧に感心する。

半島内側で少年期を過ごした私には、夜冬帝のもたらず雪が止んだ静かな朝は身も心も神霊となった。山も木々も眠り一面真新しい白絹の世界となる。空気が湧き出るように濃密に美味しい。やがて太陽に照らされると、雪姿は反射して変相を始める。『枕草子』にも雪の降った早朝は言語に絶する美しさだと記している。もつとも京の庭は冬景色をめぐるように造られているのであるが、能登人は自然の摂理の中で厳しいがしなやかに歩んできたのである。(押上武文へ府中市宝立町出身)

奥能登国際芸術祭2017

今年秋開幕!



ロゴデザインは奥能登国際芸術祭
クリエイティブディレクター 浅葉克己氏

瀬戸内国際芸術祭、大地の芸術祭越後妻有アートトリエンシーレを手掛ける北川フラム氏を総合ディレクターに迎え、能登半島の「最^{さいはて}涯」奥能登珠洲で最先端の現代アートの祭典「奥能登国際芸術祭2017」が開催される。コンセプトは「日本の祭り」と食文化の源流を探る」

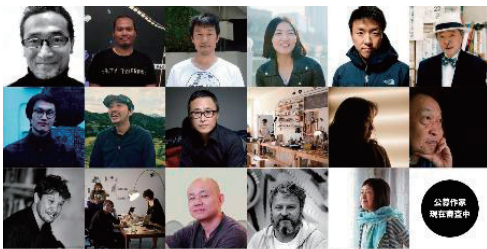
奥能登珠洲には、海と陸の交流が生んだ特異な文化が残されている。能登の里山里海に育まれた生活と風景はまさに「忘れられた日本」。その象徴ともいえるのが、祭りとヨバレである。



秋祭りのヨバレ。収穫に感謝し、キリコ等の担ぎ手に精を出してもらうために、自宅で主人がお酒と食をふるまう地域独特の風習が起源とも言われる。

北川フラム氏は、かつて日本各地で行われていたと思われる地域独特の伝統文化や風習が、半島の先端という云わば特異点である珠洲市に今も息づいていることに大きな感銘を受けた。地域で大切に受け継がれてきた祭りや、地域の豊かな食材をふんだんに使ったヨバレ料理、そして地域の素朴で温かみのあるもてなしこそが、まさに現代人を日本文化の基層へと誘う。

奥能登国際芸術祭は、秋祭り時期に開催。祭りやヨバレの風習を通して、珠洲の持つ地域や人の魅力をより具体的に感じていただく。



現在発表されているアーティストは17名。
公式ウェブサイト
(<http://oku-noto.jp>)にて紹介中。



秋祭りの時期に珠洲市で担ぎ出されるキリコ・曳山の数は100基以上。

2月19日、企画発表会開催

全参加アーティスト、作品プラン、気になる作品鑑賞パスポートの情報、楽しみ方の提案などを発表。また、2016年に開催した「わるないわ〜奥能登珠洲写真と言葉の投稿コンテスト」投稿作品から「奥能登珠洲みりよく100選」を選出し、発表・表彰する。

日時：2017年2月19日(日) 13時30分から
場所：ラポルトすず

奥能登国際芸術祭実行委員会は、芸術祭に参加する国内外のアーティストとともに、珠洲の魅力を見出す、そして地域に対する誇りの醸成へとつながる芸術祭を目指して準備を進めている。開催が待ち遠しい。

奥能登国際芸術祭2017

会期：2017年9月3日(日)〜

10月22日(日)

会場：石川県珠洲市全域

総合ディレクター：北川フラム

(アートディレクター)

クリエイティブディレクター：浅葉克己

コミュニケーションディレクター：福田敏也

(広告・WEBプランナー)

公式写真：石川直樹

主催：奥能登国際芸術祭実行委員会

実行委員長：泉谷満寿裕(珠洲市長)

石川県珠洲市飯田町13部20番地1

電話：0768(82)7720

関西珠洲会は、奥能登国際芸術祭・蛸島祭りなどに合わせて

9月10日・11日バス1台のツアーを計画。

首都圏からも開催期間中の里帰り旅行の提案も出ている。

キリコの保管場所が移転

東京で能登の祭りをやろう会(八木敦成会長)は、埼玉県鶴ヶ島市で保管していた能登キリコをこの程神奈川県山北町の倉庫に移転した。今年からは10月に行われる町田市「アレサふれあいまつりinまちだテクノパーク」(アレサ商栄会主催・最寄り京王線多摩境駅)にキリコを出展することになった。

能登キリコ祭りを定着させるため町田市や稲城市、八王子市、相模原市の近隣で祭り仲間を募ることにしている。



キリコ担ぎ手募集

新春開催の「ふるさとまつり東京2017」(東京ドーム)に穴水キリコ2基が登場する。

地元の要請で応援の担ぎ手を募集している。

1月8日(日)9日(月)一午前・夕方2回出演—

応募者は、東京で能登の祭りをやろう会・八木会長
090-1775-9658まで

東京珠洲会総会が開催される

11月18日浅草ビューホテルにおいて第54回東京珠洲会定時総会・懇親会が86人の参加で開催された。

総会では、笠原英二会長が「里帰りすることが一番の恩返し、ふるさとを盛りたてよう」と挨拶し、活動報告、会計報告などが行われた。続いて懇親会に移り、来賓の泉谷満寿裕珠洲市長が「来年9月珠洲市で奥能登国際芸術祭を開催するので大勢帰省して盛り上げていただきたい。ふるさと納税は返礼品を充実させたので応援をよろしくお願ひしたい」と挨拶、珠洲商工会議所 刀祢秀一会頭、珠洲市議会大兼政忠男議長らの挨拶の後、能登すずなり重政靖之理事長の乾杯で懇親となった。恒例のゲスト・佐々木ホコさんのふるさと歌謡やアントニオさんのバイオリン演奏を楽しみながら地酒を酌み交わしふるさと談義やお楽しみ抽選会で盛り上がった。

表久雄弁護士の中締めで閉会、いも菓子などのお土産を携え再会を約して散会した。



挨拶の笠原英二会長



〈登壇した来賓〉 左から大兼政議長、刀祢会頭、泉谷市長、谷前珠洲会会長

飯田高校同窓会東京支部役員会



だらぼちに集い地酒を楽しむ同窓生たち

12月23日飯田高校同窓会東京支部役員会が開催された。役員の仕事分担として支部長代行に畠中尚副支部長、会計担当に本田ゆり子幹事、渉外担当に光真章幹事を指名した。活動方針として、今年の夏に拡大役員会、平成30年5月に支部総会を行うほか、8月本部同窓会への代表派遣、奥能登国際芸術祭や首都圏で開催される県人祭、百万石の集いなどふるさと行事への積極的な参加を行うことを確認した。役員会の後、銀座だらぼちに席を移し、飯田高校同窓生有志の「望年会」を開いた。

湯島天神梅まつりに 能登町物産展

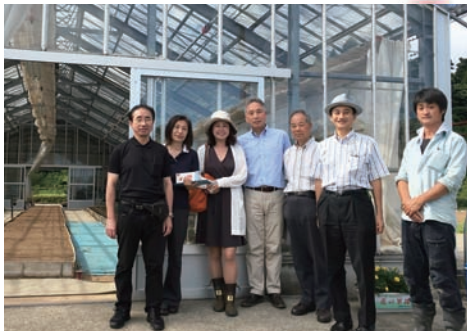
恒例の文京区湯島天神梅まつりに2月11日(土)・12日(日)能登町の物産展が出展する。昨年結成された文京石川県人会などが誘客のPRを行い盛り上げに協力する。



ふるさと行事のご案内

1月6日～9日	石川・富山物産展	伊勢丹新宿店
1月7日～15日	ふるさと祭り東京2017	東京ドーム
1月9日(月・祭)	2017日本海クルーズセミナー	ホテルルポール麹町
1月12日(木)	オーケストラアンサンブル金沢東京公演	紀尾井ホール
1月18日～23日	いしかわ百万石物語展	銀座三越店
1月20日～25日	冬の北陸味と技紀行	そごう横浜店
2月3日～5日	いしかわ伝統工芸フェア2017	東京ドームシティ・プリズムホール
2月15日～21日	金沢味めぐり	玉川タカシマヤ地下1階催場
3月8日～13日	第3回 石川・富山・福井物産展	丸広百貨店川越店
3月22日(水)	オーケストラアンサンブル金沢東京定期公演	東京オペラシティ

山崎教授が支援する
農業者



イタリア野菜の生産取組み
左側が山崎教授ご夫妻(鉢ヶ崎で)

珠洲市を中心に
“能登が大好きな農業者”を育てる
農業生産法人ベジュール合同会社
(代表 足袋拔豪)
電話0768(82)1094 info@vejoule.jp

その後、アメリカ海軍大学院で研究講師として勤務、メリーランド大学大学院でコンピュータサイエンス修士号を取得するなど、カナダ在住も含めると14年ほど北米で過ごしました。博士号は和歌山大学でシステム工学を修めました。

現在は、芝浦工業大学大学院教授としてコミュニケーションを多面的に研究し英語論文作成などの授業を担当しています。4年ほど前から、奥能登地方の若手農業グループと情報機器での栽培記録や支援システム研究をしています。奥能登地方で頑張る若い農家や過疎化対策の一助になればと考えています。



◆メッセージ……
珠洲市の飯田高校卒業後は茨城大学理学部化学科に進学、相模原市の化学研究所に勤務しましたが、1981年にアメリカの大学院に留学しました。

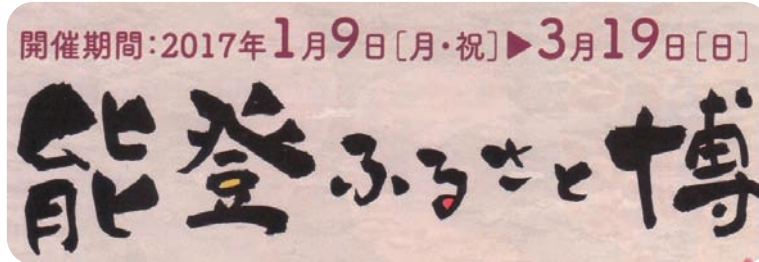
頑張る
奥能登人

芝浦工業大学大学院教授
飯田高校同窓会
東京支部副支部長
山崎敦子さん
(旧姓・慶祐)
さいたま市在住

【生い立ち】
昭和31年飯田町で生まれる
〈昭和49年飯田高校卒業
(26回生)〉



のとドン



ひやくまんさん

能登町

1/22(日)
宇出津港
のと寒ぶりまつり



穴水町

1/28(土)
・29(日)
雪中ジャンボかきまつり
2017



輪島市

2/18(土)
・19(日)
にぎわい大市



珠洲市

2.26(日)
食祭り
「珠洲まるかじり」



事務局から

地球温暖化がどこへ行ったやらと思わせる記録的な11月の初雪やエレベーターのように上下する寒暖に老体が戸惑っています。加能ガニは例年より豊漁のようですが、昨年のようにぶり不在の冬にならないように願っています。能登のAKB(あんこう、かき、ビーフ)が躍る冬のふるさとに帰省しましょう! (東京奥能登応援団) 代表/光真 章 副代表/下平 康次